

学校運営計画(4月)		評価(3月)
<p>学校運営方針</p> <p>校訓「自助・自歌・信愛」のもと、生徒個々の個性・能力を伸ばし、豊かな感性と創造力を養うとともに、社会の一員として公共の精神に基づく強い自覚と実践力を身に付けた人間性豊かな生徒の育成を目指す。加えて、家庭及び地域社会との連携指導体制を強化するとともに、教育活動の改善・充実積極的に取り組み、生徒・保護者及び地域社会に信頼される学校づくりを推進する。</p>		<p>評価(3月)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p> <p>本校は、本年度、単位制高校として開校10周年を迎える。これまで取り組んできた単位制高校の特長を生かした多様な学習ニーズに対応した教育活動は、効果的に推進されてきた。具体的には、魅力ある授業づくりを推進し、わかる楽しさや学ぶ喜びを共有する学習活動や安全・安心とやすさのある学習環境の提供、キャリア教育を推進し、生徒一人一人の進路希望の実現を目指した教育活動は、出席率・単位修得率の向上等一定の成果を収めてきた。本年度は、これまで取り組んできた学校運営計画を踏襲しつつ、生徒の学ぶ意欲に的確に応え、将来の自己実現を見据えた進路意識の醸成や社会性を育む教育活動のより一層の充実・深化に努める。また、本校の特色のひとつでもある国際交流事業や生徒海外研修等の事業を通して国際理解教育の推進を図るとともに、生徒一人ひとりの人権が尊重され、いじめや差別のない学校づくりを目指した人権教育を推進する。</p> <p>更に、本校の教育活動について、生徒・保護者及び中学校等の地域社会に対して、HP等を通じた情報の発信、公開講座や研修会等の開催等を通して、広く説明責任を果たすとともに、より一層の本校教育活動への理解・啓発に努め、地域から信頼される学校づくりを目指す。</p>		<p>年度重点目標</p> <p>生徒の学ぶ意欲の向上と基礎学力の充実に努める。</p> <p>自己管理能力の育成を図るとともに、修学支援体制を強化し学習意欲の向上を図る。</p> <p>キャリア教育の推進と特進クラスの特色化を図り、生徒の希望進路実現を目指す。</p> <p>家庭及び地域・社会との連携を強化する学校情報の公開に努める。</p> <p>国際理解教育や環境教育を推進し、国際感覚の涵養と環境問題への意識の高揚を図る。</p> <p>人権教育を推進し、人権意識の高揚と人権尊重の精神を涵養する。</p> <p>学校開校10周年を生徒の帰属意識の高揚と愛校精神の育成を図る契機とする。</p> <p>具体的目標</p> <p>授業研究、授業評価による授業改善に努め、「分かる授業」の実施と魅力ある学校設定科目の導入により、生徒の学習意欲を高め、出席率・単位修得率の向上を図るとともに基礎学力の充実に努める。</p> <p>生徒の規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立、更に、自主・自律の態度の育成を図るとともに、担任、修学課、S・Cカウンセラー、訪問相談員等との連携を強化し、生徒の修学支援体制の充実に努め、問題行動や不登校、さらに、中途退学の抑制・防止に努める。</p> <p>キャリア教育を推進し、生徒の自己実現能力の育成を目指すとともに、系統的・計画的指導体制を構築し、進路指導の充実を図る。また、特別進学クラスの指導内容の充実や就職指導対応の強化により、生徒希望進路実現に努める。</p> <p>特色ある教育活動、学校行事等の学校情報を積極的に発信・公開し、家庭及び地域・社会との連携協力体制の強化を図り、教育活動の活性化を促進する。</p> <p>海外研修等の国際交流事業やESD事業を実施し、環境問題への意識の高揚と異文化理解やコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>人権教育週間や人権講座を通して生徒の人権感覚や自尊感情を涵養し、いじめや差別のない学校づくりを推進する。</p> <p>開校記念行事や関連学校行事の実施により、愛校精神を涵養する。</p>
<p>教務部</p> <p>生徒に勉学の本質や目的を理解させ、「魅力ある授業」を実現することによって、学ぶ喜びや分かる楽しさを体験させ、出席率・単位修得率を向上させる。また、部内各課及び各部との業務連携を強化し、学習環境の整備・充実を図り、学力向上、希望進路実現、修学率向上を図る。</p> <p>学習指導力の向上等の本校の教育力向上を図り、単位修得率の向上や不登校及び中途退学者の減少を目指す。</p> <p>学校案内や入試相談を充実させ、入試情報を広報し、生徒募集と入試事務の円滑な実施を図る。</p> <p>学校行事や会議等の日程調整を図り、円滑な実施を実現し、教育支援システムや校内LAN・情報機器の保守管理とPTA活動の運営を実現する。</p>		<p>前期(3月)</p> <p>前期の成果と後期の目標</p> <p>生徒の出席状況について分析を行い、単位修得率(85%以上)の向上と不登校及び中途退学者の減少を目指す。</p> <p>新学習指導要領に対応した時間割マスタを作成し、授業の工夫・改善を目的とした学習指導研究会を研修部と連携して年2回実施する。</p> <p>学校生活アンケート(年2回)をとおして、生徒の学校生活状況の把握に努め、生徒が円滑な学校生活を送ることができるように支援する。</p> <p>体験入学(年2回)、中学校進路相談事業(4学区)をはじめ、中学校での学校説明会などを行うことで、入学志願者の前年比20%増を目指す。</p> <p>学校案内や広報誌などの広報媒体の内容の充実や、学校ホームページの月1回以上の更新を行うことで、効果的な広報活動を推進する。</p> <p>教職員の情報機器活用能力を向上させるとともに、個人情報の流失・漏洩防止対策を徹底するための研修(2回)を実施する。</p> <p>年間行事の日程等を適切に調整・管理し、毎月の予定を早期(1ヶ月前)に完成させるとともに、諸会議の事務管理を確実に実行。</p> <p>教育支援システムの保守管理と校務パソコンの適正活用を促し、教育の情報化を推進し、事務の効率化、迅速化を図る。</p>
<p>生徒指導部</p> <p>心豊かに楽しく生きる力を育て、自主性と自己責任力の伸長を図るとともに、生徒会活動の活性化と学校行事の充実や、魅力ある学校づくりを推進する。さらに、働きを培った多様な奉仕・体験活動を奨励し、地域に根ざした学校づくりに取り組む。</p> <p>安全教育、非行防止教育を充実させ、基本的生活習慣を確立し、自主的・自律的な生徒を育成する。</p> <p>生徒情報の共有化と教育相談体制の充実を図り不登校、長期欠席、中途退学の減少を目指す。</p> <p>保健衛生の保持と環境美化に努め、安全安心な学習環境作りを目指す。</p>		<p>「マナーアップひびき」として全職員を割り当て、校内4回の入室指導を徹底し、規範意識の高揚と問題行動の抑制・防止(前年度比20%減)に努める。</p> <p>生徒指導に関する職員研修(年2回実施)や「いじめ」に関する調査(年6回実施)により、早期発見、早期対応に努め、「いじめ」の防止・撲滅に取り組む。</p> <p>修学課会議を週1回開催し、生徒状況を把握するとともに、全職員が情報を共有するための生徒情報交換会を月1回開催する。</p> <p>担任、S・C、訪問相談員等との連携を強化し、生徒の修学支援体制の充実を図り、不登校や中途退学の抑制・防止(前年度比10%減)を目指す。</p> <p>平成26年までに個別の教育支援計画完全実施に向け、毎週1回保健課会議をもち、特別支援教育の更なる充実のための組織作りをする。</p> <p>養護教諭、S・C、訪問相談員、学校健康医及び関係機関との連携により、健康相談を実施し、教育相談の充実を目指す。</p> <p>生徒の美化意識の高揚と校内美化の促進のために、毎月1回「カンファッひびき」を実施する。</p>
<p>ガイダンス部</p> <p>キャリア教育を推進し、生徒の能力や適性を生かした進路希望の実現をサポートするとともに、生徒の進路情報を教職員間で共有し、系統的進路指導を構築し、希望進路実現を目指す。</p> <p>新課程への完全移行へ備え、変更事項の職員への周知を図る。</p> <p>進路情報の共有化、校外外模試や特別講座の参加を促し、個々の生徒の進路実現を図る。</p> <p>高大等連携事業・インターンシップ・資格取得・就職指導の充実によりキャリア意識を高め、進路実現を図る。</p>		<p>職員研修会を年3回(新転任者は4回)実施し、理想的なモデルパターンの設定や旧課程科目の学習内容との相違点等のデータを職員全体に周知させる。</p> <p>近未来ガイダンスの11月実施への変更に向け、卒業生年次の生徒に対しても効果的な講座の内容等を工夫する。</p> <p>外部模試・実力診断テスト等の事前指導及び迅速な結果分析・検討による進路状況研修会を定期的に実施(2回)し、指導の充実・改善に努める。</p> <p>長期休業中の特別講座の実施を周知させ、受講者数(前年度比10%)の増加と、出席率の向上(10%アップ)を目指し、学力の向上を図る。</p> <p>高大等連携事業説明会の充実(年2回)による参加率(10%増)、資格取得指導の充実(職員・生徒の意識向上)により、進路決定率(10%増)を実現する。</p> <p>企業体験、インターンシップ、就職・公務員試験の参加率・受験率(10%増)の向上、年次・就職指導員との緊密な連携により就職指導を充実させ、内定率(10%増)を目指す。</p>
<p>研修部</p> <p>校内研修の充実を図り、教師力を向上させ、教育活動の活性化を図る。</p>		<p>各分掌との緊密な連携による職員研修(年10回)の実施、および研修部主催の学習指導研究会(年2回)の実施によって、指導力向上を図る。</p> <p>授業公開(年2回)の実施時期・内容等を検討するとともに、研究授業(年8回)への参加促進を図り、教科指導力向上と授業充実を図る。</p> <p>生活体験発表会、芸術鑑賞の実施内容の充実と効果的運営により、生徒の学校への帰属意識の高揚と学習活動への意欲向上を図る。</p> <p>図書館の円滑な運営と利用率向上を図るために、広報紙「ライブラリー」を定期的に(月1回)発行する。</p>
<p>新入生年次</p> <p>基本的な生活習慣を確立する。</p> <p>学習指導を徹底し、学習意欲を向上させる。</p> <p>進路指導の推進し、生徒の進路目標を実現させる。</p>		<p>タッチパネルを開く習慣を身につけさせる。連絡等でタッチパネルを有効に活用する。</p> <p>規範意識の高揚を図り、問題行動の抑制・防止(前年比10%減)に努める。</p> <p>授業出席率の向上(80%)と単位修得率の向上(修得率85%)を目指して、欠席生徒へ早めの指導や、家庭訪問をする。</p> <p>学習習慣の確立と授業規律の確保に努める。</p> <p>HR・総合的な学習の時間・個人面談を通して、生徒がそれぞれの夢を描ける情報提供を教員全体で行い、進路目標を設定する。</p> <p>個人面談(年2回)、生徒指導部長や年次部長との面談(4・5月)等により、進路実現意欲の向上を図る。</p>
<p>在校生年次I・II部</p> <p>授業を大切にし、継続的に学習する態度を維持させる。</p> <p>教員間・専門機関・保護者との連携をさらに強化する。</p> <p>生徒一人一人の興味・関心・能力・適性をよく把握し、進路目標をより明確化する。</p>		<p>授業出席率の向上(80%)と単位修得率の向上(修得率85%)を目指して、欠席生徒へ早めの指導や、家庭訪問をする。</p> <p>長期休業中の特別講座受講を奨励(前年度比10%増)し、継続的な学習態度の育成を図る。</p> <p>修学課、訪問相談員、S・C等との緊密な連携により、多くの職員による修学支援体制を強化し、中途退学者数の減少(前年比20%減)を目指す。</p> <p>年次会議(年18回)で生徒情報を交換する。年次通信を定期的に(年8回)に発行し、家庭との連携強化を図る。</p> <p>HRや総合的な学習の時間に、生徒が自分自身や周囲との関係を省みたり、自分の将来について考えたりする機会を提供し、進路目標の設定100%を目指す。</p> <p>毎日交代で登校指導・校内巡視を行い、生徒指導に活用する。また、個人面談週間を実施(2回)し、生徒理解と効果的活用を図る。</p>
<p>在校生年次III部</p> <p>職員間の連絡を密にし、生徒の状況を共通理解を図る。</p> <p>出席率向上のために、家庭との連携を図る。</p> <p>生徒個人個人の進路目標実現ができる支援をする。</p>		<p>毎週1回ミーティングを行い、迅速かつ適確な情報交換を実現する。</p> <p>毎日、交代で下校指導・校内巡視を行うとともに、給食指導を通じて生徒の変化をとらえ、生徒指導に活用する。</p> <p>欠席が3日以上続いた生徒に対して家庭訪問を実施し、出席率の向上(80%以上)を図る。</p> <p>HRにおいて、生徒個人個人に出席状況を確認させ、授業に参加することの意義を認識させる。</p> <p>HR・総合的な学習の時間・個人面談を通して、生徒がそれぞれの夢を描ける情報提供を教員全体で行い、進路目標の設定100%を目指す。</p> <p>年次通信を年8回発行し、希望進路の実現に向けて家庭との連携強化を図る。</p>
<p>卒業生年次</p> <p>進路指導の推進し、生徒の進路目標を実現させる。</p> <p>学習指導を徹底し、発展的学力を向上させる。</p>		<p>総合的な学習の時間を利用して進路説明会や進路別研究を年6回実施し、生徒の進路目標達成に対する意欲向上を目指す。</p> <p>小論文指導に関して、5月から全体指導、7月から個人指導を実施し、小論文作成能力を向上させる。</p> <p>長期休業中の特別講座受講を奨励すると同時に、受講生の団結を図る行事を通して出席率90%を目指して学力向上を図る。</p> <p>早めの家庭への連絡や家庭訪問をし、単位修得率80%を目指す。</p> <p>個人面談(年2回)、就職指導員との面談(4・5月)等により、進路実現意欲の向上を図る。</p> <p>年次通信を年6回発行し、保護者と学校との連携を密にする。</p>